

同窓生からの手紙

28年度
文部科学大臣
優秀教職員表彰
受賞

丹波市出身。平成11(1999)年、学校教育学部社会系専修コースを卒業後、社会人等を経て小学校教諭として勤務。22(2010)年に特別支援教育コーディネーターコースを修了。新温泉町で学校生活支援教員(通級指導教室担当)として7年間勤め、本年度から現職。



かたせ きよし
片瀬 廉士さん

兵庫県立出石特別支援学校みかた校教諭

内面を理解し支えることの 大切さを学びました



←教室で健康観察をしている様子

当

時、「スキルアップ
したい!」という
単純な思いだけで、大学
院での学びを始めました。

在学中、一番学びが深かつたことは、教育現場で行われた実習でした。表面的なスキルだけでは駄目だと気付かされたのです。

指導、悩みや具体的な方法を共有する教育相談に取り組みました。子どもも持てる力が発揮され、成長を保護者や先生方と共有できた時はうれしかったですね。

特別支援教育コーディネーターは脇役です。主役となる子ども、保護者、先生方の内面を理解し支えることが、何よりも重要だったのです。見えな

いものを見ようとすることは、現場に戻ってからでも常にそれを心掛け、意欲や自信を高める通級による

最後には。多様性が求められるこの時代、皆さん自身がより魅力的で多様な人間となることを目指してくださいね。

最後に。多様性が求められるこの時代、皆さん自身がより魅力的で多様な人間となることを目指してくださいね。

LETTERS FROM OB & OG

28年度
文部科学大臣
優秀教職員表彰
受賞

平成14(2002)年、学校教育研究科教科・領域教育専攻言語系コース(英語)修了。現任校では研究部主事、グローバル教育推進室室長として国際交流、ユネスコスクール関連事業をコーディネートし、体験からの課題探究を通じたグローバルリーダーの育成に尽力している。



いわみ りか
岩見 理華さん

神戸大学附属中等教育学校教諭

人との出会いを 大切にしてください



→米国シカゴ国際交流校受入れ事業の様子

—— つの高校で担任として卒業生を送り出し、キャリアアップと授業改善を目的に大学院に進学しました。当時はインターネットを利用した教材や指導方法が教育現場にも普及し始めた頃で、パソコンもできないのにコンピューター支援による協調学習をテーマに研究に取り組みました。ゼミでは社会文化的理論に基づく英語教育について指導を受け、このたび公示された新学習指導要領を支える学習観について20年近くも前から教えていただいていたのだと感謝しています。

大学院で出会った方々とは今も交流が続いています。現任校はSGH指定校で、ユネスコスクールにも加盟しており、国際交流事業も積極的に展開しています。そのような活動を支えているのはやはり人的ネットワークで、人とのつながりの大切さを実感しています。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

第37回

大学院同窓会総会・研究大会【関東大会】の開催

大学院同窓会総会は各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は東京都で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 8月5日(土)・6日(日)
- ◎会場 アルカディア市ヶ谷 私学会館(東京都千代田区)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表
講師: 福田光完学長、永田繁雄東京学芸大学教職大学院教授
巡検: 選択型 ①「下町こいイチ」コース、②「表参道・渋谷ブチットドライブ」コース、③「靖国神社と国会議事堂」コース、④「皇居東御苑」コース